

## 平成27年度第1回水産研究所研究評価委員会（中間・事前評価結果）

日時 平成27年12月17日（木）9時30分から14時00分まで  
 場所 水産研究所2F会議室  
 委員 (大) 三重大学 大学院生物資源学研究所 教授 神原 淳  
 (国研) 水産総合研究センター 増養殖研究所 業務推進部長 乙竹 充  
 三重県漁業協同組合連合会 指導部長 植地 基方  
 北村物産株式会社 代表取締役専務 北村 裕司

中間評価 継続予定課題  
 「英虞湾漁場環境調査」  
 「アワビ放流効果向上事業」  
 「革新的イセエビ幼生飼育技術の開発」

評価項目を研究の進捗状況、目標達成の可能性、課題の取扱い（研究継続の可否）とし、それぞれの課題について評価を実施した。結果は下表のとおりで、課題の取扱いでは、全課題とも、全委員が「継続して課題を完成させる」と評価した。

中間評価結果（数字は委員4名中の該当委員数）

課題名	進捗状況				目標達成の可能性				課題の取扱い		
	計画以上	目標通り	やや遅れ	遅れ	非常に高い	高い	やや低い	極めて低い	継続して完成させる	課題整理 予算縮小が必要	中止すべき
英虞湾漁場環境調査	—	4	—	—	1	3	—	—	4	—	—
アワビ放流効果向上事業	2	2	—	—	2	1	1	—	4	—	—
革新的イセエビ幼生飼育技術の開発	3	1	—	—	1	3	—	—	4	—	—

事前評価 平成28年度の新規予定課題  
 「伊勢湾産アサクサノリの特産化に向けた研究」  
 「アユ資源回復のための放流効果向上対策事業」  
 項目を研究の必要性、効率性、有効性とし、各項目について5段階（5点：かなり高い、4点：やや高い、3点：普通、2点：やや低い、1点：かなり低い）の評価を実施した。  
 結果は下表のとおりで、両事業の総合評価は、4以上（かなり高い）であった。

事前評価結果（数字は委員4名の平均得点）

課題名	必要性	効率性	有効性	総合評価 (平均)
伊勢湾産アサクサノリの特産化に向けた研究	4.5	4.0	4.3	4.3
アユ資源回復のための放流効果向上対策事業	4.0	4.0	4.0	4.0